

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	岸本 充生 大阪大学データビリティフロンティア機構
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	これまで3期にわたって、学会理事をやらせていただきました。日本リスク研究学会は、他の多くの学会と異なり、様々な分野を「リスク」という横串でつなぐという重要な機能を持っています。相互に接続されますます複雑化し、不確実性が増す社会において、リスク学が築き上げてきた様々な手法や概念(リスク評価、主観的なリスク認知、リスクトレードオフ、リスク対話、リスクベネフィット、費用対効果など)は、ますます重要なものになっていくと思います。さらに近年は、情報技術の進展に加えて、ビッグデータとアルゴリズムの組み合わせによって新たな問題、すなわちプライバシー、セキュリティ、個人の尊厳、自由意思など、へのリスクに対する方法論の構築が求められています。30周年を迎えて、これまでの蓄積をふまえつつも、変化していく社会に適応し、さらには課題を先取りしていけるような柔軟な学会にしていきたいと思っています。
② 本学会におけ る活動歴	学会誌への論文は共著も含めて数本。2008年には奨励賞を受賞。2012年から理事として事業委員会の委員長を務め、タスクグループの立ち上げにかかわった。
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	京都大学大学院経済学研究科を修了し、工業技術院の資源環境技術総合研究所に入所。独法化に伴い、産業技術総合研究所化学物質リスク管理研究センター、続いて安全科学研究部門に所属。2014年4月から2017年3月まで東京大学公共政策大学院及び政策ビジョン研究センター特任教授。2017年4月より現職。

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	岸本 充生氏
② 推薦者の 姓名と所属	谷口 武俊 東京大学政策ビジョン研究センター教授
③ 推薦理由 (400 字程度)	本氏は、わが国のリスク研究拠点の一つである産業技術総合研究所の安全科学研究部門持続可能性ガバナンスグループ研究グループ長を経て、東京大学公共政策大学院及び政策ビジョン研究センターに3年在籍していました。自然科学的な研究成果を踏まえつつ社会科学的視点からリスク研究において目覚ましい活躍をされてきた。研究面だけでなく、公的な活動にもリーダーシップを発揮するとともに食品安全などに関して実践的な政策提言を行っている。複雑化し相互依存が高まる社会・政治・経済状況のなか、国内外でリスクガバナンスのあり方が問われる様々な問題が顕在化しており、問題(群)の多面性かつ相互関連性を俯瞰した社会的な提言が求められている今、本学会が果たすべき役割と責務は極めて大きい。研究企画力と遂行能力に優れた岸本氏に、国内外との学際的協働を強化すべくリーダーシップを発揮して頂きたく、岸本氏を理事候補として推薦します。